

果敢にチャレンジしていく**神戸市**へ!

- 提案1 神戸経済の活性化と民間活力の導入
- 提案2 議員報酬・議員定数削減と政務活動費の情報公開を徹底
- 提案3 子育て世代への支援と教育の充実
- 提案4 地域包括ケアシステムの構築と高齢者・障がい者福祉の充実
- 提案5 兵庫県と神戸市の二重行政解消



「乳幼児の育児環境の充実」を推進!



2020年9月28日 令和2年 第2回定例会市会 代表質疑
少子超高齢化を迎える中、神戸市として「子育て環境の充実」を推進していくべきことを提案しています。特に妊婦・産婦の方々は、今回のコロナ禍で非常に多くの不安や心配を抱えながら生活しています。そのような不安や心配を解消するためにも、「乳幼児の育児環境の充実」について質疑しました。

【山本のりかす議員】

初めて出産を経験した産婦は子育てに関する多くの不安を抱えており、新型コロナウイルスの感染を恐れて対面での相談を懸念する方も多く。お母さんの抱える悩みを募集して回答を動画配信で発信するなど、悩みの解消を図る事業をさらに積極的に実施すべきでは。



【恩田副市長】

新生児の訪問事業や育児等に関する個別相談会に加え、正しい育児の知識啓発や仲間づくりの場を提供して悩みの軽減を図る「すくすく赤ちゃんセミナー」を11月からオンラインで開催予定。動画配信も含め効果的な媒体・手法を選んで情報発信していく。

神戸市で安心して妊娠・出産できる環境を!



神戸市では妊娠・出産・子育てにおける切れ目のない支援に取り組み、誰もが安心して子どもを生み育てることができる街の実現を目指しています。ここでは、神戸市が独自に取り組んでいる施策の一部を紹介します。

こべっこウェルカムプレゼント

神戸市人口減少対策「リノベーション・神戸」の取り組みの一環として、お子さんが生まれたご家族を祝福し、神戸の魅力が詰まった「こべっこウェルカムプレゼント」をお贈りしています。

- 対象者：神戸市内在住で平成31年4月2日以降に誕生した子がいる世帯。
 - プレゼントの内容：第1子…1万円、第2子…1.5万円、第3子以降…3万円相当のカタログギフト。
- ※WEBカタログには、神戸にゆかりのある企業などの商品を100点以上掲載。



妊婦の方へのタクシークーポン券配付

神戸市では新型コロナウイルス感染症対策事業として、公共交通機関の利用に不安や負担を抱える妊婦の方々に、外出時にご利用いただけるタクシークーポン券を配付しています。

- 対象者：神戸市内に住所を有する方で、令和元年7月1日から令和2年12月28日までの間に妊娠の届出をされた方（令和2年7月27日以前に市外転出された方を除く）。
- 配付するもの：タクシークーポン券1万円分（500円券 × 20枚）

神戸市の新型コロナウイルス感染症対策

※政策の一部を抜粋

民間・医療機関等によるPCR検査機能の拡充

3月の24検体から11月30日に最大682検体の検査体制を構築

感染症患者を受け入れる専門臨時病棟完成

神戸市立医療センター中央市民病院に、全国初の全床(36床)が重症患者受け入れ可能な専用病棟

ドライブスルー式PCR検査体制を構築

受検者は自家用車等で検査センターに来所。乗車したまま検体採取用の資材を受け取り、自ら鼻腔をぬぐい液もしくは唾液を採取して医療従事者へ受け渡す方式

インフルエンザ流行期における相談・診療体制の確保

インフルエンザ流行期の発熱患者に対して行う抗原検査の保険適用部分を公費負担

児童福祉施設等における感染拡大防止対策

消毒液・パネル等の備品購入等の補助(1施設あたり50万円等)

介護・障がい福祉サービス事業者への支援

マスク等の確保・広報啓発等に係る費用補助(1施設あたり20万円)

不安を抱える妊婦へのPCR検査の拡充

ひとり親世帯に2万円支給(一定の条件あり)

第2子以降は、1人当たり1万円を支給

中小企業等への家賃負担軽減

家賃減額した不動産オーナーに対して軽減額の8割を支援

このたびの新型コロナウイルス感染症により、お亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみ申し上げます。また、罹患された市民の皆様、そのご家族、関係者の皆様、および感染拡大により日常生活に影響を受けているすべての皆様に心よりお見舞い申し上げます。そして、一日も早くこの事態が終息し、平穏な生活を取り戻せるよう心から願うとともに、新型コロナウイルス感染症対策の政策提案を引き続き行ってまいります。



神戸市立医療センター 中央市民病院のコロナ専門病棟を視察

新型コロナウイルスに関する相談先 ●神戸市電話相談窓口(24時間受付:多言語対応可)

新型コロナウイルス専用健康相談窓口 TEL.078-322-6250

対象者 ●予防に関すること、感染症・健康不安に対する相談のある方 ●感染者と接触があった方、WHOの公表する流行地域に渡航歴等のある方



維新の重点決算要望 神戸の「再生」、更なる改革で住み良いまちへ!

日本維新の会 神戸市議員団は、税の有効活用のため、行財政改革をさらに推進します。

今年度決算については、住み良いまちづくりのため、市民サービス向上のための要望をしてみました。

ここでは、その一部をご紹介します。

※これまでの決算要望は会派HPをご確認ください。



北区地域の玄関口である駅を美しく!

2020年10月6日 令和2年 決算特別委員会 質疑（都市局決算審査）

駅は、その地域の住民にとっての移動の起点であるとともに、地域の顔となる空間であり場所でもあります。私の地元である北区においても、駅周辺には住宅街が広がり、施設の規模は小さくとも一定の利用がある駅もあります。そうした駅も含めて美装化を進めていくべきと考え、神戸電鉄沿線における「駅的美装化」推進について質疑しました。



【山本のりかず議員】

令和元年度においては、神戸電鉄の有馬温泉駅におけるデザイン性の高い照明の設置や長田駅的美装化に向けたプランの作成に対して支援を行っている。北区の活性化のためにも神戸電鉄沿線上の小規模駅のリニューアルは必要と思うが、例えば大池駅・山の街駅・箕谷駅などの駅においては全く手入れされていない駅もある。具体的にどのような駅で効果があると考えているか。また、バリアフリー化を進めていく上でも、美装化などプラスアルファの付加価値をつけていくべきでは。

【都市局長】

小規模な駅も含めて美装化を進めるという視点は重要。鉄道事業者とも協議しながら対象駅を選定し、デザイン性に優れた駅となるよう支援していきたい。特に、神戸電鉄については令和2年6月から北神急行が市営化されていることもあり、三宮までの利便性に向上の効果が期待できる駅などを対象に順次美装化を進めていきたい。バリアフリー化が対応できていない大池駅や花山駅などについては、駅的美装化をバリアフリー化工事と合わせて駅の再整備ということを考えていきたい。

令和元年度の実績

●神戸電鉄 有馬温泉駅

～温泉街らしいホームの美装化

「亀甲紋」を柱や照明のデザインに採用し、温泉街らしさを演出。照明柱の設置により、夜のホームを明るく暖かく照らし出している。



施工前



施工後

令和2年度の実施計画

●神戸電鉄2駅(花山駅・大池駅)美装化プランの作成と設計予定

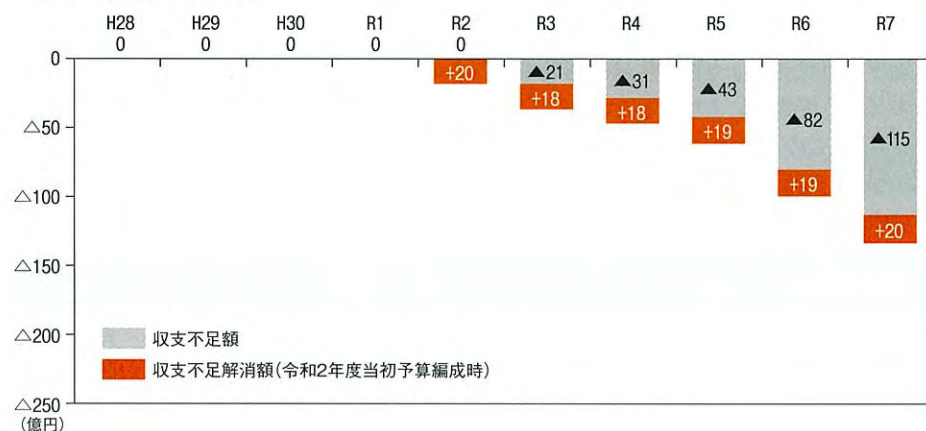
※新型コロナウイルスの影響による鉄道利用者の大幅な減少を受け、鉄道事業者において事業計画の見直しを検討中。

財政の見通しをチェックし、改革を提言!

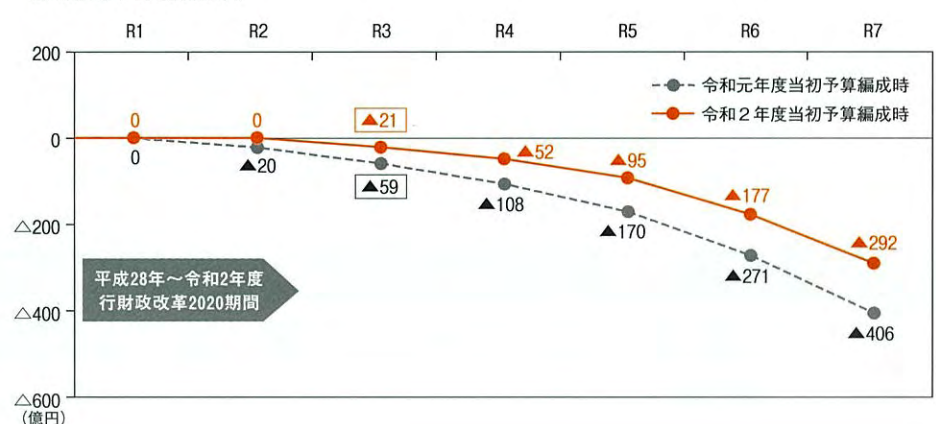
神戸市における少子超高齢化による人口推計と、社会保障関係費等の増大を考慮した前提条件をもとに試算すると、対策をしなければ今年度の予算編成では収支不足額が生じる見通しとなっています。厳しい時代を迎えている現代においては行財政改革を推進し、財源を確保していかなければなりません。行財政改革をしなければ市民に負担として税金等で跳ね返る可能性があります。従って、改革を実行し、次世代の子どもたちの未来のために政策提案してまいります。

■令和2年度予算編成による単年度収支不足額と収支不足累計額の推移

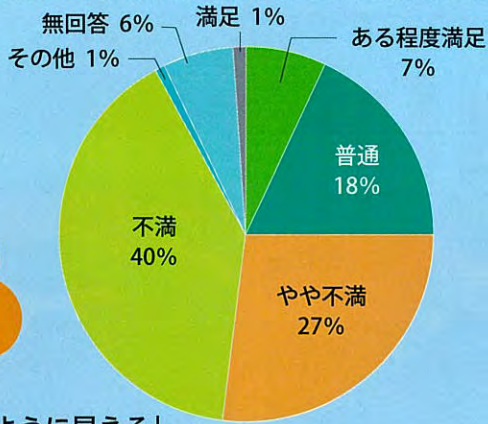
①単年度収支不足額



②収支不足累計額



Q1 今の神戸市の現状に満足していますか？

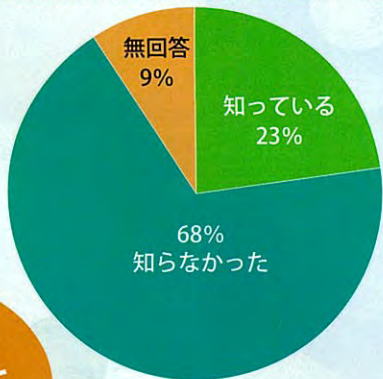


67%が不満を感じています。

- 「活気がないように見える」
- 「人口減の現状を人の集まる町にしてほしい」
- 「三宮駅前開発よりもっと細部に目を向けて！」

神戸の発展と未来のために、本気で改革します！

Q3 日本維新の会 神戸市議員団は、身を切る改革を実施しています。議員各自が、月額報酬20%相当12万円(手取り額)を被災地等に寄付しています。皆さんはご存知ですか？

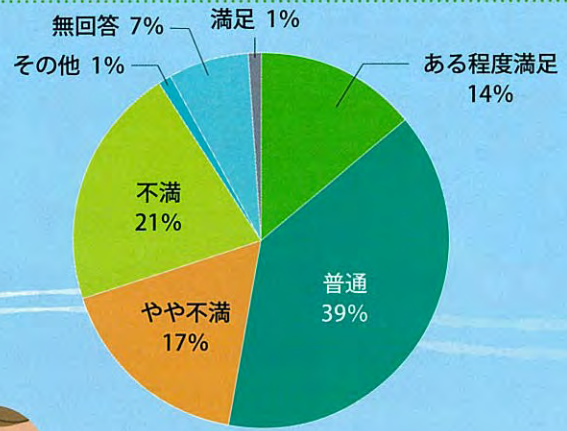


68%が知らなかったと答えています。

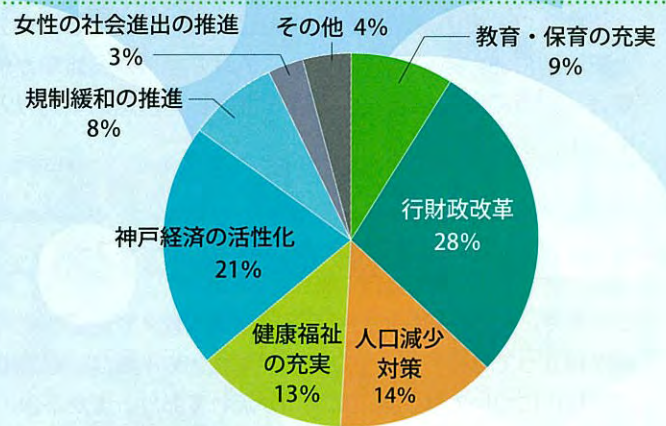
- 「金額を知らなかった。なぜ全議員に広げないのか？」
- 「他党は言うだけ」「他の党にも求めてください」
- 「企業から献金とか受け取っていますか？」

※日本維新の会は、企業からの献金は一切受け取っていません！

Q2 市・区役所の対応に満足していますか？



Q4 日本維新の会 神戸市議員団に期待する点は？



皆さんの声をもっとお聞かせください！

皆さんからいただいたご意見は、神戸市政に反映するため提案してまいります。アンケート調査へのご協力をぜひお願いいたします。

「市政報告『日本維新の会通信』Vol.7」アンケート結果より（日本維新の会 神戸市議員団まとめ）

コロナ禍における市民や地域への支援施策 「議員報酬2割削減案」は否決されました

※（議員提出第10号議案）

新型コロナウイルス感染症による市民生活や経済活動への影響が拡大する中、その対策や財政運営を支援するために、各自治体ではさまざまな取り組みが行われています。兵庫県においては、県議会および県内41市町の議会の約7割が、議員報酬や政務活動費、行政視察経費などの一部を削減。これらの財源は、感染症対策や地域経済・住民生活・医療従事者などへの支援のために活用されています。

感染確認が県内で最も多い神戸市でも同様の施策を行うべきだと考え、日本維新の会と他党派4名の合計14名は、市会議員の議員報酬を減額する『議員提出第10号議案』を共同で提出しました。この議案は、議員報酬の20%を1年間削減することで約1億5,600万円の財源を生み出して、市長にコロナウイルス支援策に充てていただくことを趣旨としており、コロナ禍においても減収などの影響を受けない我々市会議員が率先して行おうとするものです。

9月18日の本会議においても、「議員報酬の削減によって財源を確保し、新型コロナウイルス感染症による経済活動の停滞や市民生活の不安を払拭するための支援策に充てていただきたい」と日本維新の会から改めて説明して賛同を求めました。しかし、賛成少数のため、残念ながら本議案は否決となりました。

※議員提出第10号議案…「神戸市市会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の特例に関する条例」。



議案否決について

『ウィズコロナ時代』を迎えている今、山本のりかずは神戸市議員としてコロナ関連のさまざまな問題に向き合いながら、感染拡大防止に努めてまいります。そして、困窮している市民の皆様を支援していくとともに、神戸の経済活動を停滞させることなく両立させ、平穏な日常を取り戻すためにこれからも真摯に取り組んでいく所存です。

あなたのお考えに当てはまるところに○をつけてください。

神戸市の現状に満足していますか？

- ①満足している ②ある程度満足している ③ふつう
④やや不満 ⑤不満(理由)

新型コロナウイルス感染症への神戸市の対応について、満足していますか？

- ①満足している ②ある程度満足している ③ふつう
④やや不満 ⑤不満(理由)

神戸市会に関心がありますか？

- また、議会や委員会などを見たことがありますか？
①関心がある ②やや関心がある ③関心がない
④会議を見たことがある(内容)

神戸市議員に市政相談などで接したことがありますか？

- ①知人などを通じて接した ②地域行事などで接した
③市政相談や意見交換をした ④ない

あなたの意見や市民の声が神戸市政に反映されていると思いますか？

- ①思う ②やや思う ③思わない ④わからない
⑤その他()

神戸市北区での要望や、あったらいい事柄があればお書きください。

例) 子育て支援について、支援強化など

ふりがな	
お名前	
ご住所	
電話番号	
FAX番号	
メールアドレス	

北区の地域活動、身近な問題にも 取り組んでいます。

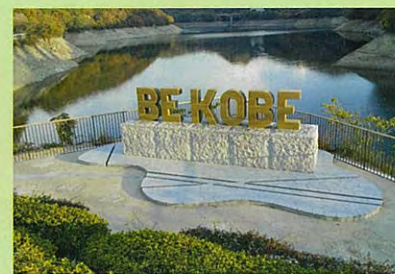


実績 神出山田自転車道の整備リニューアル

これまで神出山田自転車道において、台風の影響により山から土砂が侵入した際は、当局に対して土砂撤去や落ち葉の清掃などを依頼してきたこととともに、老朽化した看板のリニューアルも要望しておりました。また、サイクルセンターが閉鎖してきたことへの利活用を促してきた経緯があり、2020年の神出山田自転車道の整備リニューアルと、里山初となる「BE KOBE」設置には、関係者の皆さまに感謝を申し上げます。これからも神戸の都心部だけでなく、里山地域や農村地域の活性化の政策提案をしていきます。



リニューアルされた神出山田自転車道



里山地域初設置の「BE KOBE」モニュメント

実績 谷上駅周辺の公園を適切な環境に整備

今年はコロナ禍の影響もあり、人混みの密を避けるため公園に行かれる方が多かったのではないのでしょうか。谷上駅周辺における公園について、子育て世帯から雑草が伸びており、草刈りなどの管理をしてほしいとの依頼を受け、建設局に適切な公園管理を依頼し、迅速に草刈りと清掃を行っていただきました。関係者の皆さまに感謝申し上げます。



子どもたちが遊びやすいように整備された公園

実績 鈴蘭台駅前の景観に配慮し電線を整理

これまで、鈴蘭台駅前における区役所建て替えや周辺地域再整備に際して、電柱や電線の配線が目立ってきました。そこで、無電柱化や不要な配線の撤去を当局に提案してきました。無電柱化については、地下に河川が流れており、また下水・ガスなどのライフラインが複雑しているため、実施困難とのことでした。しかし、配線の乱雑さが目立っており、これまで要望してきた結果、当該配線の撤去と整理は実現しました。



架線整理前



架線整理後

北神急行線の市営化と料金値下げが実現

2020年6月1日より北神急行線を市営化し、市営地下鉄北神線として運行を開始。これにより、谷上駅から三宮駅まで550円から280円に大幅に値下げすることができました。



身のまわりでお困りのことをご相談ください！

あの道路が危険だ！道路や歩行者の通路が陥没している！または公園の管理など地域でのお困りことや行政手続きなどでお困りのことがあればご相談ください。ご自宅や地域の集会所、喫茶店など、どこでもお伺いします。地域に住んでいて良かったと思える神戸市にするために、皆さんのご意見を行政や議会に届けていきます。地域の皆さんと共に、安全・安心の街づくりと住みやすい神戸市の未来をつくりましょう！



切り取ってポストにご投函いただくか、メールまたはFAXでお送りください。

連絡先 ■日本維新の会 神戸市議員団：〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 1号館29階
TEL (078) 322-0185 FAX (078) 322-0184 メールアドレス: info@kobe-ishin.jp
http://www.kobe-ishin.jp
■山本のりかず事務所：〒651-1243 神戸市北区山田町下谷上字梅木谷23番地16-208
TEL&FAX (078) 907-5601
https://yamamotonorikazu.com



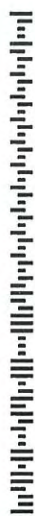
料金受取人払郵便

神戸中央局
承認
8268

差出有効期間
令和3年7月
31日まで
(切手不要)

6 5 0 - 8 7 9 0

924



日本維新の会
神戸市議員団室行

神戸市中央区加納町6丁目
5番1号 1号館29階

日本維新の会 神戸市議員団へのご意見やご提案をお書きください。

キリトリ

決算特別委員会で局別審査を行いました

健康局 2020年10月2日(金)



新型コロナ関連について

■質問:黒田武志

学校園のクラスで集団感染が出た場合、社会生活に与える影響が大きい。感染拡大を抑えクラスターを発生させない為の初期対応は重要です。クラスの生徒全員にPCR検査を実施するなど、対応指針を作成すべきと考えますが、見解を伺います。

■答弁:樋口健康局担当部長/濃厚接触者でなくても同じクラスの児童など、より広い範囲で検査を実施している。今後とも積極的な調査を行い、感染拡大の防止に努めます。

■質問:黒田武志

関係各局が縦割りではなく連携を密にしながら、対象者に対して適切な情報を提供していただきたい。クラスターが起きた事を教訓に改善していかなければなりません。今後の対策はどうなっているのか。

■答弁:伊地智健康局担当局長/感染が疑われる生徒さんが増えてきた場合に、早く情報を共有し、対応できるよう教育委員会と再度検討を始めました。

神出病院の虐待事件について

■質問:黒田武志

西区・神出病院で発生した看護師ら6人による患者への虐待事件に憤りを禁じえない。実地指導を強化するとの事ですが、事前に通告を行わない抜き打ちでの指導もすべきと考えますが、見解を伺います。

■答弁:花田健康局長/ヒアリングの時間を2倍にし、実地指導のときに各患者、職員から聞く時間を増やす。公益通報制度を利

用し、「不適切なケアがあったら神戸市に通報してください」と、徹底する。

■要望/黒田武志

虐待を抑止し、患者の人権を守るべく適切な実地指導の検討と、改善命令の遵守の徹底を要望します。

環境局 2020年10月8日(木)

大型ごみのインターネット受付について

■質問:黒田武志

インターネットでの申込みのページの作りがユーザー目線、初心者へのページになっていません。早急に改善が必要と考えます。

■答弁:浜本環境局副局長/市民が情報を入手しやすく、あるいは申込みしやすいという観点からホームページの作成を心がけていきたい。

クリーンステーションからのごみの持ち去り

■質問:黒田武志

条例により、クリーンステーションからの資源ごみや燃ごみの持ち去りを禁止しており、違反者には、①勧告②氏名公表③命令④刑事告発及び刑罰としての罰金が科されることになっています。それぞれの適用状況を伺います。

■答弁:浜本環境局副局長/①勧告書37名②氏名公表11名③命令書6名④罰金0名です。

■質問:黒田武志

罰則がそもそも適用されていないという点が大きな問題ではないかと思えます。条例の運用が甘く行われているのではないかと。県警との連携を密にし、より厳格に罰則を適用していただきたい。見解を伺います。

■答弁:浜本環境局副局長/今後、県警とも密に連携を取りながら行ってまいりたいと思っています。



令和元年度神戸市各会計決算及び関連議案について

令和2年10月15日

日本維新の会神戸市会議員団を代表して意見表明を行いました。



神戸の魅力と活力を高める取り組みと共に、「withコロナ」の時代を乗り切るための抜本的な行財政改革を推進することを期待し、下記の要望19件を付して、令和元年度神戸市各会計決算を認定し関連議案を承認いたします。

要望

- 職員が効率的に仕事できるようテレワーク環境を早急に整備すること。また働き方改革を先導すべき幹部職員に対し、ICTリテラシーの向上に努めること。
- 都市二重行政の解消も含め、重複業務を排除し、率化に取り組みすること。
- 職員の外郭団体への再就職や、各外郭団体への財政的関与・資本的関与の必要性について改めて見直すこと。
- 労務職の採用区分にかかる学歴要件を撤廃し、真に活躍が見込まれる人材を確保すること。
- 図書館は地域の方々に親しまれる魅力ある施設として環境整備、運営サービスの向上を行うこと。また図書館の検索システムにタブレットを活用したタッチパネルを導入すること。
- 認知症予防策のため、特にMCI(軽度認知障害)予防策の拡充を図ること。
- インフルエンザ流行期を見据えて、医療機関で新型コロナウイルス検査・診療を受けられる体制を整備すること。また新型コロナウイルスを正しく理解してもらう取り組みや、感染者への差別・偏見・誹謗中傷や風評被害を無くすための周知を徹底すること。
- 妊婦へのタクシー代補助については、個人タクシーも含め、全てのタクシー事業者で使えるようにすること。
- 神戸市子ども家庭センターに警察官を配置することにより、経験やノウハウなどのスキルを利活用しながら、警察との合同研修などを通し、情報共有を積極的に行うこと。
- 多胎家庭における産後ケアの宿泊・通所サービスを無料とし、妊娠・出産時における経済的・精神的支援をさらに充実していくこと。
- 行政サービスのオンライン手続きやホームページの見せ方に関しては、市民ユーザーの利便性・向上の観点で早急に改善すること。
- 大阪・関西万博は新型コロナウイルス感染症により未曾有の打撃を受けている神戸経済・インバウンドの回復させる千載一遇の機会であるため、神戸の港と空港を最大限活かした攻めの姿勢で積極的に取り組むこと。
- 須磨多聞線西須磨区については、地元自治会の「理解と協力」を得られないままに着工した件を反省し、早急に話し合いに応じること。
- 三宮再整備においては地上レベルだけに着目するのではなく、地下動線の強化など地下街の整備に取り組むこと。
- 空き家問題に関し、積極的に勧告を行うなど住宅用地特例の解除に努め、適切に助成を併用しながら、解体と活用の促進に努めること。
- 各区消防署に陰圧式患者搬送用器具(アインレーター)の導入促進を図ること。
- 交通事業は、更なる民間人材を積極的に活用し、増収対策、コストカット、新たな収益源の確保により、資金不足比率および収支の改善に努めること。また次期経営計画は、5カ年での計画ではなく、中・短期的な目標を設定し、業務を向上させるための実行計画を策定すること。
- 学校園でのICT導入に関し、教員からの問題や解決方法などの情報を集約・蓄積し、事務業務を軽減すること。またデータのセキュリティー・情報漏えい対策を徹底すること。
- 温かい中学校給食を提供できるよう、親子方式や保温食缶の導入を早急に行うこと。またニーズに合った美味しい給食を提供できるよう、研究を重ねていくこと。

日本維新の会神戸市会議員団市政報告

編集・発行 日本維新の会神戸市会議員団 〒650-8570 神戸市中央区加納町6丁目5-1 TEL(078)322-0185 FAX(078)322-0184 https://kobe-ishin.jp/ info@kobe-ishin.jp

神戸市会議員 黒田武志 西区選出



9月議会の最終日(10月28日)、日本維新の会神戸市会議員団を代表し、一般質問を致しました。

議事録抜粋を中面に掲載しました。ご一読ください。

黒田武志の取り組み 市内3つのモデル実施校の一つ、西区・西神中学校の中学校給食を視察

温かくておいしい中学校給食のモデル実施が始まりました。

学校給食が温かくておいしい事は最低限の要素だと考えます。私は委員会など様々な機会を通して、その実現のために発言・要望を続けてまいりました。この度、モデル校が選定され、実証実験が始まりました。食後、多くの生徒さんに感想をお聞きすると、全員が美味しかったと言っていたと、本当に嬉しかったです。人口減少著しい神戸市は、次世代を担う子どもたち(ご両親)へ適切な投資を進め、より子育てしやすい環境を整えていかねばなりません。児童生徒の様子を見たり、生の声を聞いて、神戸市内全ての中学生に栄養バランスが良く、温かくておいしい給食を食べさせてあげたいと決意を新たにしました。



視察後、芝校長先生、教育委員会・健康教育課長、係長、担当職員、栄養士の方々と試食をしながら、今日の様子や課題点等々、意見交換をしました。

今後、アンケート結果を踏まえ、課題を改善しながら、親子方式(小学校の調理場から中学校へ配膳)も含めた早期の全校実施を市会議員として推進していきます。



▲衛生面に配慮しつつ、保温食缶から温かいおかずを配膳。成長期の子どもたちに、栄養バランスの良い食事は必須です。

学校の安全整備について "天井ボード等の落下"

北区桜の宮中で天井ボード等が落下する事案が発生しました。

「教育子ども委員会」で、同時期・同工法で建設された小中学校の調査を質疑・要望していましたが、西区・岩岡小と北区・ひよどり台小の2校に不具合が発覚。早急にご対応いただきました。

天井裏は安全管理上の盲点です。今後の取り組みとして、天井内の点検が追加されることになりました。

水道料金の口座振替 オンライン申請と「OOペイ」での支払い

複数のペイ系スマホ決済でできるよう2月の予算特別委員会で質疑していましたが、10月1日から支払いが可能になりました。また、水道料金の口座振替の申請をオンラインで完結できる仕組みについても導入の見通しが立ちました。これも脱ハンコに繋がります。

黒田武志の取り組みは、ホームページで takeshi-kuroda.com



KOBE ISHIN JOURNAL



本会議で一般質問を行いました。

令和2年10月28日

1. 交通事業の経営改善について

(1) コスト削減について

■質問:黒田武志

新型コロナウイルス感染症の影響により、交通局の事業会計は大幅に減収し、経営健全化団体へ転落の可能性も含めて、非常に危機的な財政状況です。徹底した経費の削減による経営改善策を行うべきです。例えば運転士など局採用職員の平均年収は政令市の中で、いまだ一番高い水準です。より一層の削減に取り組む必要があると考えます。

■答弁:岸田交通局長/今年度自動車事業会計では約16億円、高速鉄道事業会計では141億円の減収を見込んでおり、あらゆる経営改善の検討を行っていく必要があると思っています。政令市中位程度の給与水準に近づけるように取り組んでまいります。

(2) 新たな収益源の確保について

■質問:黒田武志

交通事業の経営改善には、新たな収益源の確保が重要になります。例えば、テレワークに対応したオフィスの拠点を増やす。医療機関を誘致する。保育所やキッズスペースを設置するといった多様な働き方を視野に入れ、駅中や駅周辺のスペースを公民連携で整備するなど、新たな視点をもって取り組んでみてはどうか。その際、地下鉄の起終点である西神中央駅は実施しやすい拠点と考えるが、合わせて見解を伺います。

■答弁:岸田交通局長/特に乗降客数の多い三宮駅、西神中央駅、名谷駅では、新しい取り組みで利便性を向上させ、駅周辺の活性化、増収効果につなげたい。



2. 西神中央駅周辺の活性化について

(1) 西神そごう撤退後のテナント誘致

■質問:黒田武志

ここは交通局所管の外郭団体である神戸交通振興が運営していますが、10月下旬になっても、まだ1階フロアですらオープンできておりません。1階フロアは速やかに整備し、先行して開業していただきたい。

■答弁:岸田交通局長/年内の一部先行オープンを目指して、残留意向があるテナントと契約条件等の入居交渉を継続しています。開業時期のめどがつかましたら、できるだけ早くお知らせできるように調整をしております。

そごう西神店後の先行オープンについて

西神中央駅ショッピングセンター(旧そごう西神店)の、1階と5階部分について、先行して臨時開業しました。

- オープン:12月4日(金)10時
- 1階パントリーは、11月27日(金)10時先行オープン

(2) 西神中央駅前の賑わい創出について

■質問:黒田武志

西神中央駅周辺は、新西区庁舎や芸術・文化ホール、新西図書館の建設など、新たな施策が展開されています。この機に、周辺施設の恒常的な賑わいを確保することが必要です。

そのためには、外郭団体である(株)OMこうべの果たす役割が重要ですが、歴代の代表取締役社長には、市の幹部が天下っており、地域住民のニーズに対応し、駅周辺のリノベーションを推し進める事業者にはふさわしいとは思われません。商業施設の運営に実績のあるプロの民間人材を登用するなど、思い切った改革を行うべきと考えます。

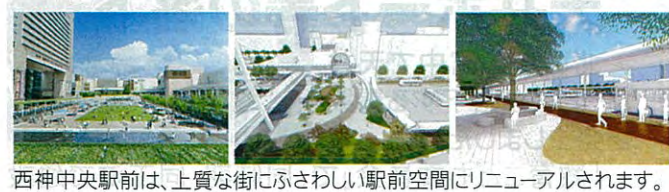
■答弁:久元市長/少しお時間をいただくかもしれませんが、組織の見直しを行い、その上で適任の社長をどう選んだらいいのかという発想で検討をさせていただきたい。

(3) 西神中央駅前ロータリーの改善について

■質問:黒田武志

交通結節点機能をより便利にする整備方針となっておりますが、それぞれのロータリーの規模や機能の見直しは見え、利便性向上に繋がっているとは思えません。具体的には一般車乗降場ロータリーは現状の規模と比べて非常に狭い。また、バスのロータリーは降車口が駅の改札から対角線上の遠くにある。

■答弁:油井副市長/交通結節点の機能を損なうことなく、バス乗降場の集約を図るなど、バスロータリーをコンパクトにすることにより



西神中央駅前は、上質な街にふさわしい駅前空間にリニューアルされます。

して、歩行者のための空間を創出するとともに、バス利用者の利便性も高めることを検討しています。一般車ロータリーにつきましては、より使いやすくなるよう拡張することができないか検討を進めています。

■要望:黒田武志

西神オリエンタル側と西区民センター側、ここのロータリーも狭い。拡張するか、もう少し手前のほうでも数台止められるようなロータリーの整備も、よろしくお願います。



3. GIGAスクール構想に関する学校現場の支援について

■質問:黒田武志

GIGAスクール構想の目的は、これまでの教育実践とICTを組み合わせることにより、時代に合った形で学習活動の一層の充実を図り、児童・生徒の学力を向上させていくことであると考えます。もし、教員の習熟に差が出た場合、授業の影響を受けるのは児童・生徒であるため、十分な対策が必要です。きめ細やかなサポートを受けられる支援員を配置するべきでと考えます。

また、教育委員会事務局としても、ICTや教科指導、研修など、関連する部署同士や、支援員及び学校現場など一体となって連携し、児童・生徒の学力向上に取り組む必要があると考えますが、見解を伺います。

■答弁:長田教育長/支援員には、ICTの知識はもちろんですが、学校教育についての知識が必要であると考えておられ、教育関係の民間事業者も含めて検討をしたいと考えています。

GIGAスクール構想の推進によりまして、学校教育活動というものは大きく変わることになりますので、密接に情報共有をしながら取り組んでいく必要があると考えております。

4. 不法投棄対策について

不法投棄の撲滅に向けて、以前から議会や、西区の現場も取り組んで来ましたが、改めて本会議で質疑しました。

■質問:黒田武志

不法投棄とは、単に「ごみ問題」ととどまらず、神戸の街の美観を損ない、自然環境や生活環境を著しく悪化させることにより、市民の日常生活に悪影響を及ぼす犯罪行為であると認識しています。

不法投棄の防止に取り組んできましたが、効果ははっきりしません。これまでの成果を十分検証し、それを踏まえて、今後の対策の在り方を再検討すべきと考えますが、見解を伺います。

■答弁:今西副市長/悪質な不法投棄に関しましては、警察に情報提供の上、連携した対応を講じていて、今年度、行為



者検挙の事例が2件出ています。一定の成果は上がっていると考えていますが、監視の目の届きにくい地域におきまして、今年度は新たに神戸市が直接設置する不法投棄防止カメラの運用に取り組むこととしています。

■質問:黒田武志

現状の巡回パトロールは日中に実施されており、人目の少ない夜間、また未明などに行動する不法投棄者を発見するのは難しいのではないかと考えております。

民間事業者を活用した定期的な夜間パトロールの実施、または不法投棄の頻発する場所に、本市直営の監視カメラを設置するなど、これまでとは異なる新たな取り組みを進めていただきたいと考えますが、見解を伺います。

■答弁:今西副市長/このカメラは固定式ではなく、効果的な場所に移動していきたいと考えています。そして、来年度以降も引き続き拡充をさせていきたいと考えています。不法投棄ができないような環境をつくってまいります。

■要望:黒田武志

まず、カメラに関しては、今後、可動式も含めてやっていただけないかと、本当にありがたいと思います。

神戸市と同じように山間部や田園地帯がある地方の政令指定都市で、夜間パトロールをすることに不法投棄が減ったと、自治体の担当者の方から聞いております。莫大な予算がかかるという訳でもないのに、いつパトロールが来るか分からないという抑止力の観点からも、ぜひ検討していただきたい。



西区・伊川谷付近の不法投棄問題に関し、今回は、環境局、建設局、西区役所が連携し、不法投棄の撤去を含む美化作業をしていただきました。

神戸市の決算 令和元年度

	歳入(収入)	歳出(支出)
一般会計(基本的な事業)	8,127億円	8,037億円
特別会計(国保、介護保険、市住等)	6,658億円	6,605億円
企業会計(バス、上下水道等)	2,332億円	2,814億円

令和元年度の一般会計決算は、社会保障関係費が増加した一方で、所得の増加などともなう個人市民税の増や「神戸市行財政改革2020」に基づく取り組みを進めたことなどから、黒字(13億2100万円)を確保することができました。

神戸市のお金の使い道(決算)をわかりやすく
一般会計の支出を
52.7万円/市民一人あたりにすると
52.7万円になります。

日本維新の会 神戸市議員団 黒田武志 (西区選出)

議会・委員会や日々の活動など、ブログやツイッターで発信しています。
黒田武志ブログ 検索



新しい力が未来を開く!!

自ら身を切る覚悟を示し、行政・議会改革を徹底します。本当に必要な住民サービスを充実させます。西区に住んで良かったと心から誇れる街にするため、全力で神戸市政の刷新に取り組みます。

日本維新の会神戸市会議員団の意見表明を行い、要望を付して決算を認定し、関連議案を承認いたしました。



行財政改革を着実に進めたことにより、23年連続でプライマリーバランスの黒字を確保したことは評価いたします。神戸の魅力と活力を高める取り組みと共に、「withコロナ」の時代を乗り切るための抜本的な行財政改革を推し進めることを期待し、令和元年度神戸市各会計決算を認定し関連議案を承認いたします。

要望

●職員が効率的に仕事できるようテレワーク環境を早急に整備すること。また働き方改革を先導すべき幹部職員に対し、ICTリテラシーの向上に努めること。●県市二重行政の解消も含め、重複業務を排除し、業務効率化に取り組むこと。●職員の外郭団体への再就職や、各外郭団体への財政的関与・資金的関与の必要性について改めて見直すこと。●労務職の採用区分にかかる学歴要件を撤廃し、真に活躍が見込まれる人材を確保すること。●図書館は地域の方々にも親しまれる魅力ある施設として環境整備、運営サービスの向上を行うこと。また図書館の検索システムにタブレットを活用したタッチパネルを導入すること。●認知症予防策のため、特にMCI(軽度認知障害)予防施策の拡充を図ること。●インフルエンザ流行期を見据えて、医療機関で新型コロナウイルス検査・診療を受けられる体制を整備すること。また新型コロナウイルスを正しく理解してもらう取り組みや、感染者への差別・偏見・誹謗中傷や風評被害を無くすための周知を徹底すること。●妊婦へのタクシー代補助については、個人タクシーも含め、全てのタクシー事業者で使えるようにすること。●神戸市こども家庭センターに警察官を配置することにより、経験やノウハウなどのスキルを活用しながら、警察との合同研修などを通して、情報共有を積極的に進めること。●多胎家庭における産後ケアの宿泊・通所サービスを無料とし、妊娠・出産時における経済的・精神的支援をさらに充実していくこと。●行政サービスのオンライン手続きやホームページの見せ方に関しては、市民ユーザーの利便性向上の観点で早急に改善すること。●大阪・関西万博は新型コロナウイルス感染症により未曾有の打撃を受けている神戸経済・インバウンドを回復させる千載一遇の機会であるため、神戸の港と空港を最大限活かした攻めの姿勢で積極的に取り組むこと。●須磨多間線西須磨工区については、地元自治会の「理解と協力」を得られないままに着工した件を反省し、早急に話し合いに応じること。●三宮再整備においては地上レベルだけに着目するのではなく、地下動線の強化など地下街の整備に取り組むこと。●空き家問題に関し、積極的に勧告を行うなど住宅用地特例の解除に努め、適切に助成を併用しながら、解体と活用の促進に努めること。●各区消防署に陰圧式患者搬送用器具(アイソレーター)の導入促進を図ること。●交通事業は、更なる民間人材を積極的に活用し、増収対策、コストカット、新たな収益源の確保により、資金不足比率および収支の改善に努めること。また次期経営計画は、5カ年での計画ではなく、中・短期的な目標を設定し、業務を向上させるための実行計画を策定すること。●学校園でのICT導入に関し、教員からの問題や解決方法などの情報を集約・蓄積し、事務業務を軽減すること。またデータのセキュリティ・情報漏えい対策を徹底すること。●温かい中学校給食を提供できるよう、親子方式や保温食缶の導入を早急に行うこと。またニーズに合った美味しい給食を提供できるよう、研究を重ねていくこと。

新型コロナウイルス感染症 臨時病棟を視察しました

●日程:令和2年11月7日
●視察地:神戸市立医療センター中央市民病院臨時病棟



神戸市立医療センター中央市民病院に、全国初となる14床の集中治療室(ICU)機能を備え、全ての病床(36床)で重症患者の受け入れが可能な臨時専用病棟が整備されました。全室が陰圧環境となっており、医療スタッフが安心して勤務できる構造になっています。臨時病棟の完成により、今後の新型コロナウイルス感染症患者への治療は臨時病棟に限定して実施することにより、3次救急への対応や高度な手術など、高度急性期病院としての医療を継続的に提供することが可能になります。臨時病棟は令和2年11月9日より運用が開始されました。

駐輪場からのお知らせ

子ども料金
子育て世帯回数券
19歳以上の学生学割定期券

9月からお得に!スタート!!

これまで学割対象外であった19歳以上の大学生および専門学校生等の学生の市営駐輪場定期券が9月より対象となりました。新型コロナウイルス感染症に関する要望において、市長に対し再三と要望していた案件の1つが実現しました。減額割合は13~25%、定期券の販売開始は8月末から開始されています。

19歳以上学割定期券(詳細)

- 対象:19歳以上の大学生、専門学校生等の学生(学校教育法第1条、第124条、134条第1項に規定する学校)
- 券種:定期券(自転車・原付ともに対象)
- 減額割合:13~25%程度割引
- 定期販売開始時期:8月末(各駐輪場の9月分定期販売開始時期から)
- 販売条件の拡充(高校生以下も同様):学校への通学以外に使用する場合も購入可能になります
- 必要書類:学校に在学していることが確認できる書類(学生手帳等)

日本維新の会神戸市会議員団市政報告

編集・発行 日本維新の会神戸市会議員団 〒650-8570 神戸市中央区加納町6丁目5-1 TEL(078)322-0185 FAX(078)322-0184 https://kobe-ishin.jp/info@kobe-ishin.jp

日本維新の会神戸市会議員団 団長

神戸市会議員

そとみ かいぞう 東灘区選出

外海開三



特集 外海開三の神戸市会での活動を知っていただくため、中面に決算特別委員会での質疑を掲載しました。ぜひ、ご一読ください。▶▶▶

議員報酬2割削減案が否決されました

令和2年第2回定例会が12月8日まで82日間の日程で開催されました。

いわゆる「議員報酬2割削減案」につ

いて令和2年9月18日に採決が行われ、賛成少数で否決となりました。神戸市では、連日多数の新型コロナウイルス感染症患者が確認され、市民生活や経済活動にも未曾有の打撃が生じ、収入が激減された方や職を失われた方など多くの神戸市民が困窮に直面しています。コロナ禍においても減収などの影響を受けない我々市会議員が率先し、議員報酬の20%を1年間削減する事で生み出される約1億5,600万円の財源を議会の意として、市長にコロナウイルス支援策に充てていただく事が本議案の趣旨です。討論でも述べましたが「議員報酬2割削減案」が果たして市民に寄り添うことになるのか、そしてパフォーマンスであるのか否かを判断するのは我々議員ではなく神戸市民のはずです。 ※討論動画をご覧ください

- 賛成議員 ●日本維新の会神戸市会議員団10名 ●日本共産党神戸市会議員団9名 ●つなぐ神戸市会議員団5名 ●共創・国民民主神戸市会議員団1名(諫山議員欠席) ●平野章三議員 ●上原みなみ議員
- 反対議員 ●自由民主党神戸市会議員団19名 ●公明党神戸市会議員団11名(議長含まず) ●立憲民主党神戸市会議員団8名 ●松本しゅうじ議員 ●村上立真議員

令和元年度政務活動費が公開されました

令和元年度に使用された政務活動費の収支報告書や領収書の写しなどが公開されました。我々、日本維新の会神戸市会議員団は45,120千円支給に対し、32,297千円を支出し、12,823千円を返還させていただきました。市会全体の返還率は前年比+4.8%の12.5%となり、我々会派の返還率は28.4%でした。今後も市民の皆様より預かりした大切な税金が原資である政務活動費は、市民の皆様にご納得いただけるよう適切に使用させていただきます。 神戸市会HPで閲覧いただけます

神戸市の決算 令和元年度

	歳入(収入)	歳出(支出)
一般会計(基本的な事業)	8,127億円	8,037億円
特別会計(国保、介護保険、市住等)	6,658億円	6,605億円
企業会計(バス、上下水道等)	2,332億円	2,814億円

令和元年度の一般会計決算は、社会保障関係費が増加した一方で、所得の増加などにもなう個人市民税の増や「神戸市行財政改革2020」に基づく取り組みを進めたことなどから、黒字(13億2100万円)を確保することができました。

神戸市のお金の使い道(決算)をわかりやすく

一般会計の支出を52.7万円にします。

福祉の充実に 約21.6万円	教育・文化の振興に 約9.1万円	環境・衛生の向上に 約3.6万円
産業の振興に 約0.9万円	住宅・まちづくりに 約1.8万円	道路・公園に 約2.6万円
消防・救急に 約1.4万円	区役所・市役所の行政の運営などに 約5.7万円	市債の返済に 約6.0万円

債券



令和元年度 決算特別委員会で 局別審査を行いました

港湾局 令和2年10月2日(金)

1.ハーバーハイウェイのETC化

■質問:外海開三

本件に関しては、再三にわたり早期のETC整備を促す質疑を行ってきた。令和元年度の主な事業にETC整備検討という項目があり、大変期待している。どのような検討がなされたのかを伺いたい。

■答弁:西森港湾局技術担当局長

現在は、実施設計をしながら港湾委員会と協議をして、工事着工に向けた、準備を進めてるとい段階です。

■質問:外海開三

平日の昼間に摩耶料金所付近では5分から10分の渋滞が慢性的に発生している。この渋滞問題を解消するためにも、整備を前倒しして行いべきと考え、見解を伺う。

■答弁:西森港湾局技術担当局長

ハーバーハイウェイは2層構造になっています。さらに、料金所を過ぎるとすぐカーブが来ているので、どういふふう車線をつくるのか、狭隘なところで安全に工事をしなければならないので、着手してから大体2年ぐらいは工事期間かかるのではないかと、一気に工事を縮めるにはなかなか難しいのではないかと考えています。

■要望:外海開三

ETCの整備を早期に着工し、プラスの経済効果に転じることを期待する。スピード感を持って事業を推進していただきたい。

2.大阪関西万博への海上ルート

■質問:外海開三

2025年開催予定の大阪関西万博の会場である夢洲へは、神戸から海上ルートで非常に近いことから、観光客の多くが利用すると考えられる。令和2年度予算特別委

員会局別審査において質疑したが、調査の結果を踏まえ、課題の抽出や施設面の検討等の基本検討を行っていくという答弁であった。海上ルートの整備に向けた現在の検討状況はどうなっているのか。

■答弁:辻港湾局長

神戸開空ベイシャトルを運航しているOMこうべが、昨年度に基礎的な調査を行いました。神戸空港島が恐らく優位であると評価をされ、候補地の比較検討を行っています。また、万博の半年間だけでは収支上難しいので、運航する上での課題も示されています。ただ、検討結果につきましては、需要予測なり運航手法の精査が必要ではないかと考え、民間事業者のヒアリングに着手しています。



3.今後の客船誘致戦略について

■質問:外海開三

クルーズ客船の万全な受入れに向けて、ガイドラインに基づく感染予防対策や市民への周知を行うことはもちろんであるが、神戸経済の活性化のため、いち早くクルーズ客船が戻ってくるよう、各船社や旅行会社に対し積極的に誘致を行っていくべきと考え、今後の誘致戦略についてどのように考えているのか。

■答弁:辻港湾局長

まず、日本籍船の再開について、どうすれば運航を再開できるかという議論も重ねながら、引き続いて各社と緊密に協議を重ね、誘致につなげていきたいと考えています。

外国籍船につきましては、見通しが立たない状況ですが、各船社とも2年後、3年後のクルーズの計画は立て始めていると聞いています。情報収集しながら、安全対策を万全にすつ受入れ体制を整えていきたいと考えています。

■質問:外海開三

コロナの感染が収束すると、国内の港が一斉に客船誘致合戦になるわけだが、他都市に勝つためにも神戸市独自の誘致を行ってほしいという思いがあり、その点について何か策や見解などあれば伺う。

■答弁:林港湾局担当部長

日本籍船の内航クルーズ営業再開に向けて当面の間ということではございますけれども、これまでよりも数多く神戸に寄港していただける方向で協議が整いつつあります。

引き続き神戸港ならではの工夫を取り入れながら強力に誘致してまいりたいと考えております。

■要望:外海開三

これまで神戸市が培ってきたネットワークを最大限に生かして、積極的な誘致活動に努めていただき、活気のある神戸港に早く戻るように尽力していただくことを要望する。



経済観光局

令和2年10月6日(火)

1.インバウンド獲得の戦略について

■質問:外海開三

神戸観光局では、重点課題であるインバウンド誘致の強化に取り組んでいるが、コロナの影響で、これらの計画も大きな修正を余儀なくされていると考える。現状報告及び目標数値の変更などはあるのか。

■答弁:西尾経済観光局長

日本政府観光局の統計によりますと、2020年1月から8月の訪日外客数は前年度比約82.1%減となっており、目標達成は困難です。一方、コロナ禍においてウェブやSNSを閲覧する時間は増加傾向にあるという特徴が出ています。この機会を捉え、来訪意欲を高めるためのウェブプロモーションに注力しています。インバウンドが回復する時期を正確に見込むことは難しいので、目標等については今後検討してまいります。

■質問:外海開三

2025年大阪・関西万博について、平成31年の当初予算質疑において、久元市長に質疑を行ったところ『タイミングを逃すことなく、具体的な観光戦略や目標を神戸市と神戸観光局が一体となって策定し、その達成に向けて両者が協力・連携して実行していくことが重要である。』と答弁されている。今後の具体的な観光戦略や目標などをどのように考えているか。

■答弁:安岡経済観光局観光MICE担当部長

プラスワントリップの考え方を基本に、プロモーションの強化、体験型コンテンツの充実、受入れ環境の整備を進めていきたい。神戸市と神戸観光局が一体となり、2025年の大阪・関西万博に向けた戦略の具体化や目標策定を行い、インバウンド誘客の取り組みを加速させたい。

2.航空機産業のサプライチェーン構築

■質問:外海開三

神戸市及び周辺地域には航空機関連の大手メーカーと高い技術力を有する金属加工等の中小企業が集積していることから、航空機産業は、今後も重要な産業であると考え、昨年度の実績について伺う。

■答弁:西尾経済観光局長

令和元年度におきましては、コーディネーターの配置による受注獲得支援、品質管理体制の強化支援のほか、地元中小企業をサポートしてまいりましたが、コロナウイルスの影響で、世界の民間航空需要が急減。需要が回復するには数年かかるのではないかとこの声も聞いています。

今後の需要回復に向けまして、新たに製造現場の改善活動に取り組まれる企業もありますので、支援を続けながら、引き続き、航空機産業の育成に努めてまいりたい。

■質問:外海開三

令和2年度予算特別委員会局別審査で、航空エンジンと産業用ガスタービンに関わる企業が集まる国際展示

商談会、エンジンフォーラム神戸について質疑を行った。経済観光局としての意気込みや、コロナ禍における今後の展望等を伺う。

■答弁:西尾経済観光局長

本市主催で、エンジンメーカーやバイヤーなどを対象といたしまして、市内の中小企業の視察ツアーを企画しております。神戸の技術力をアピールしていきたいと考えています。



3.中小事業者支援の強化について

■質問:外海開三

神戸市内には23もの大学及び短期大学があり、約7万人の学生が在籍していると言われていたが、就職先に神戸市外を選択する学生が多数であるという問題がこれまで指摘されてきた。そこで、市内就職の促進による市内外の若者の流入、定着を進める取り組みを行っているが、成果と課題点等があればどのようなものか。

■答弁:豊永経済観光局副局長

就職の活動状況は多様化しています。また、コロナにより、状況が売り手市場から変化をするということも想定されます。さらに、業種、業界によって、様々な状況になると思われれます。こういった課題を踏まえ、引き続き、学生さんが市内の企業に就職できるように取り組みを進めてまいりたい。

■質問:外海開三

市内での就業という意味では、雇用の促進だけではなく、起業や創業の支援体制が非常に重要であるということ、昨年度に我が会派の黒田市議が質疑を行ったところ、その際の答弁では、ワンストップ窓口の位置づけである開業支援コンシェルジュについて、ホームページ上で分かりやすくすることのことであったがどの様な改善を行ったのか。

■答弁:豊永経済観光局副局長

起業を考える方がまず相談する窓口としましては、産業振興財団が実施しておりますコーディネーターによる相談が一番ふさわしいと考えております。ここを分かりやすくする発信のためのページを作成いたしました。このページには、コーディネーターの相談窓口の概要と連絡先、問合せフォームへのリンク等も掲載しております。



公益財団法人 神戸市産業振興財団

日本維新の会神戸市会議員団 団長 神戸市会議員 東灘区選出

外海開三

インターネットで
本会議・委員会の動画配信中

神戸市会 検索

新しい力が未来を開く!!

福祉●教育●子育て 現役世代に集中投資!!

KOBE ISHIN JOURNAL

住本かずのり

すますみ便り

ヤル気、元気、本気!



令和2年12月7日・本会議にて

常任委員会 経済港湾委員会委員長に就任しています



令和2年度の常任委員会においては、経済港湾委員会に所属しており委員長を務めております。

所管部局は○港湾局○経済観光局○文化スポーツ局となります。今年度は、コロナ禍の中での国・県で実施している融資制度等の支援施策に加えて、「広く市内事業者を全力で支え神戸経済を守る」という観点から、また中止になっている市内の文化・スポーツイベント、健康増進、新規の図書館設置などの市民の暮らしを豊かにする施策を審議しています。

全国初

新型コロナウイルス感染症専用病棟 神戸中央市民病院駐車場に設置

この度、36床すべての病床で新型コロナウイルス感染症の重症患者が受け入れ可能な臨時専用病棟が整備されました(令和2年11月9日運用開始)

- 場所** 神戸中央市民病院本館西側 職員専用駐車场内約2000㎡
- 病床** 全36床 ・重症個室14床(集中治療室(ICU)機能を備えた病床)
・中等から重症病床22床(個室2床、4床室20床)
・全床にて重症患者対応、全室陰圧対応

- その他:初療室1室、スタッフステーション、資材保管スペース、臨時病棟に隣接してCT撮影室、PCR検査室設置 等



▲ 臨時専用病棟



▶ 病室(個室)

発熱・せき等の
症状が生じた場合

まずは、かかりつけ医に電話 してください



インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症は症状が似ていることから、見分けることが困難です。

発熱・せき等の症状が生じた場合は、まずは **かかりつけ医に電話で相談** してください。どこへ相談していいかわからない場合は、
新型コロナウイルス専用健康相談窓口
TEL078-322-6250

新型コロナウイルス専用健康相談窓口

TEL078-322-6250



公園トイレチェンジアクションについて

住本
質問

公園のトイレが持つ従来のマイナスイメージから脱却するための、洋式化、美装化、バリアフリー化を進めていると聞いているが、進捗状況と今後の計画についてお聞きしたい。

広脇
建設局
担当局長

建設局では、神戸のまちのイメージアップを目指して平成30年度より公園のトイレが持つ3K（暗い、臭い、汚い）のマイナスイメージを払拭して、3C（Clean（清潔）、Convenient（便利）、Comfortable（快適））な誰もが使いやすい公園トイレに再生させるために、トイレチェンジアクションに取り組んでいるところである。取り組みに当たっては、公園の築年数など老朽化の実情に応じて整備手法を区分し、全体の改築、部分改修、設備更新を実施することで、便器の洋式化、美装化、バリアフリー化を進めている。

計画では、令和2年度中に公園のトイレ洋式化率をそれまでの35%から倍の70%に引き上げることを目標としている。令和元年度では、洋式化率58%となっている。令和2年度に目標を達成する予定だったが、現在はコロナ禍の影響による事業の遅れから目標の達成時期は少しずつ見込みである。

今後も地域の声を聞きながら計画的に改築更新を行っていく。

住本
要望

老朽化しているところから順番に整備するという事だが、例えば名谷公園の多目的グラウンド脇の利用頻度が高いトイレは未整備である。今後は、利用頻度の高いところを考慮に入れて優先順位をつけて行うべきである。多くの人に使ってもらってこそ、公園のトイレは良くなったと市民には感じてもらえるのではないかと。



名谷公園の多目的グラウンド脇トイレ

② 特別自治市制度について

住本
質問

大阪都構想の住民投票によって統治機構の改革議論が進み、二重行政解消の必要性が広く伝わった。本市においても二重行政の解消は早急に解消すべき課題である。指定都市市長会では、久元市長主導で二重行政を解消し権限と財源を政令市に集約する特別自治市制度の立法化を目指し専門チームが設置された。警察、河川、道路などの事務権限が移譲されることでのメリット、税収試算などの経済効果についてお聞きしたい。

久元
市長

特別自治市は法制度化されていないので、立法化に向けた素案を策定するため指定都市市長会においてプロジェクトが設置されリーダーに指名された。そして今後このプロジェクトチームで検討されていくことになる。二重行政が完全に解消されれば、市民の利便性が向上をする、行財政全体のコストの削減につながる、地域の実情に応じた大都市特有の課題や行政需要に的確に対応できる、こういうメリットが挙げられるのではないかと。また、国全体としても、それぞれの地域、拠点を核となる大都市制度が経済成長をけん引するエンジンとなり、わが国の発展や大規模災害時のリスク分散につながるのではないかと考える。現段階では移譲を受ける事務の範囲をまず確定させる必要があり、その上で税財政制度をどう構築するのか議論を行い制度や不安を提示することができるかと考えている。

住本
再質問

特別自治市の移行に向けて市民理解も必要であると考えている。本市においても特別自治市の中身や、二重行政解消の必要性を市民に理解してもらい機運を高めていく必要があると思うが。

久元
市長

ご指摘の通り特別自治市制度の必要性を市民の皆さんに理解をして頂く努力をしたいと思う。ただ、大阪府市の「府市あわせ（不幸せ）」と言われる二重行政と違って、神戸の場合も二重行政は存在しているわけだが、近年は県市協力して二重行政の解消のための取り組みを行ってきた。このような違いはあるが、この大都市制度というものを市民の皆さんに関心を持っていただくような取り組みをこれまで以上に力を入れていきたい。

住本
要望

二重行政解消、神戸市や近隣経済圏発展のための特別自治市移行可能となる法整備は積極的に推進するべきと考える。今後は、移行によるメリットやデメリット、この制度の必要性を市民に分かりやすく説明していくべきである。

特別自治市とは

政令指定都市（神戸市など）を県より独立させ、市域の県税を特別市に移し、現在県が行っている業務（警察・道路河川管理など）を特別市が全て行う。これにより、市域内の県との重複している事務事業が一元化されることで、二重行政が解消し無駄な行政コストが削減される。市民にとっては、市県民税が一元化され、税の受益と負担が適正化される。現時点では、特別自治市制度の法律が無いため今後の法整備が必要である。

③ 若年者介護問題について

住本
質問

昨年度須磨区で起きた22歳の孫が祖母を自宅で殺害した介護殺人の痛ましい事件をきっかけにして、若年者介護という問題が注目された。市長も「ヤングケアラー」への支援を検討するためのプロジェクトチームを立ち上げる考えを表明したが、若年者介護については、様々な諸課題があり、児童、学生、成人とひとくくりでの対応が難しいと考える。今後どのような観点で支援を行うのか。

恩田
副市長

11月中旬にヤングケアラー支援プロジェクトチームを発足させて、福祉局、こども家庭局、教育委員会の関係部局で検討を行っている。ヤングケアラーという問題は関係者や関係機関対応ケースが多岐にわたっていると考えている。現在は知見のある有識者や関連団体の方にヒアリングを始めており、ヤングケアラーに関する周知とその理解を進めることが必要不可欠であることと、子どもが家事手伝いや家族対応が起因として負担になっている状況かもしれないという視点を、行政および地域福祉、児童学校の関係者が持つことが重要という意見を頂いている。今後は関係者の意見を聞きプロジェクトチームで検討し次年度予算で効果政策を考えたい。

住本
要望

18歳未満は学校現場や教育委員会、18歳以上は福祉局なので、窓口は区役所になるなど、分けて考える観点も必要である。それと、要保護児童対策地域協議会はこれまでの支援対象が児童虐待や非行等が主であったが、厚生労働省からヤングケアラーの支援と適切な対応を求められていることより、支援の充実を求め各関係部局の連携を密に取り体制構築をお願いしたい。

ヤングケアラーとは

通学や仕事のかたわら、障がいや病気のある親や祖父母、年下の兄弟などの介護や世話をしている18歳未満の子どもを指す。18歳以上30歳未満を「若者ケアラー」と区別して呼ぶ場合もある。



● 市民の皆さまからのご意見・ご感想をお待ちしております

公式サイト <http://www.k-sumi.jp>

住本かずのり 検索

E-Mail suma@k-sumi.jp

住本かずのりオフィシャル Facebook

市政相談
受付中

● 発行：日本維新の会 神戸市議員団

〒650-8570 神戸市中央区加納町6丁目5番1号1号館29階

TEL: 078-322-0185 FAX: 078-322-0184

神戸市須磨区支部

〒654-0051 神戸市須磨区月見山本町2丁目6番15号

TEL: 078-735-8231 FAX: 078-735-8231

住本かずのり（須磨区選出）



「議員報酬2割削減議案」は**否決**されました

議員提出第10号議案として、日本維新の会神戸市会議員団10名と他会派4名の合計14名で提出したものです。令和2年9月18日の本会議において「議員報酬の削減によって財源を確保し、新型コロナウイルス感染症による経済支援や、市民生活の不安を払拭するための支援策に充てていただきたい」と維新の会より改めて説明しましたが、評決において議員報酬削減に賛成を示した会派は「日本維新の会」「日本共産党」「つなぐ」「共創・国民民主党」でした。

「自由民主党」「公明党」「立憲民主党(旧こうべ市民連合)」が反対し、賛成少数のため否決されました。

なお、否決はされましたが、私はこれまでも毎月議員報酬手取り相当額2割を、他自治体等に寄付を続けています。

昨年度寄付状況

1,495,440円

寄付先
◎大阪府・京都市・北海道の
コロナ対策基金
◎那覇市首里城復興基金等

神戸市会 第2回定例会 本会議場にて一般質問を行いました

令和2年12月7日

Q1 コロナ禍における市内都市再整備案件について

他の質問は裏面へ続く

住本質問

コロナ禍の中での来年度の税収入は確実に減少する。令和3年度の市政の予算編成方針においては、事務事業の見直しや総人件費の抑制を進めていくことが示されたが、三宮再整備等の市内の大型投資案件は、コロナ禍前の経済効果試算となっている。

先日、JR西日本は三宮駅ビル再整備を白紙とした。今後これらの民間投資の冷え込んでいる社会情勢を鑑みて再度試算をすることで、適切な投資額とするべきと考えるが。

今西副市長

新三宮再整備のような未来の礎を築くためのプロジェクトは税源の涵養^{かんよう}を図っていくという長期的な観点からも着実に進展していくことが重要である。本市としても、令和3年度の都市計画決定を目指して協議を進めていく予定である。もちろん経費節減という観点から、できるだけ少ない費用で効果的に事業を実施するということが心がけて、民間事業所の情勢、新型コロナウイルスの影響を見極め、適切な対応を講じながら着実に推進して参りたい。現時点では新型コロナウイルスの感染拡大がこの経済効果に大きく影響を与えるというふうには考えていない。

住本意見

コロナ禍における今後の影響次第では、民間投資の縮小も十分に予想でき、投資額が縮小すると経済波及効果も当然縮小する。往々にしてこういった行政の大型投資案件の試算は甘く計算され失敗する例が多い。引き続き社会情勢を見極めて様々な資産の組み換え等の手法を用い、将来世代の負担を勘案して厳しく精査していただきたい。

温かくておいしい中学校給食のモデル校 実施始まりました

私の市政報告第14号(2018年10月発行)に掲載した、市民の方からの「中学校給食が冷たすぎて美味しくない」というご意見より、会派で積極的にこの問題に取り組んできました。その結果、昨年度より「保温食缶方式」「親子調理方式」による「温かい給食」にむけたモデル実施が行われています。まだ市内の一部の中学校での実施ですが、課題など検証して全校実施できるよう今後とも積極的に取り組んで参ります。

保温食缶方式 実施校

須佐野中学校(兵庫区)
神陵台中学校(垂水区)
西神中学校(西区)

●保温食缶方式●

民間調理場で調理された給食を、保温機能のある食缶(保温食缶)で温かいまま学校まで配送し、教室でランチボックスに取り分けて提供する。

親子調理方式 実施校(隣接、同一敷地より提供)

筒井台中学校・上筒井小より(中央区)
向洋中学校・六甲アイランド小より(東灘区)
大原中学校・桂木小より(北区)

●親子調理方式●

調理場を持つ自校方式の学校(親)が、調理場を持たない学校(子)の給食調理を行い、給食時までに配達し提供する。



▲▼保温食缶方式による給食



ながさわ淳一 通信 4

令和2年

第1回

定例市会



新型コロナウイルスによって落ちた神戸経済回復について

ながさわ 落ち込んだ神戸経済を回復させるためには、緊急措置的な経済支援策も必要ではありますが、関連団体等ヒアリングや業界ごとの情勢分析、様々なデータ解析をしっかりと行い現状を把握し、必要な支援策を講じるべきと考えます。第2波、第3波の襲来に備えて、どの業界、事業に重点的に取り組むかの基準を明確にした上で必要な経済対策を効果的に実施すべきと考えますが、見解を伺います。

久元市長 経済対策を講じる上で、経済団体からしっかりと御意見を聞くということは大変大事だというふうな考えておりました。神戸商工会議所、経済同友会、中小企業家同友会からそれぞれ2回ずつお話を聞かせていただきましたし、それ以外の経済団体とも意見交換をしております。副市長においても、それぞれ所管する関係業界とも意見交換を積極的に行っているところです。データ分析につきましては、まだ十分ではありません。御指摘を踏まえながら、各業界からも提出をいただいたり神戸市も独自に様々なデータ分析を行っていきたくてお思います。

ながさわ 神戸ではケミカルシューズや真珠等の多くの地場産業が市民生活を支えてきましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、消費低迷などにより大きな影響を受けております。補正予算では地場産業に関する支援策が少ないように感じることから、地場産業の支援に特化した支援策を実施すべきではないでしょうか。

岡口副市長 補正予算では地場産業も含めた市内中小企業への支援策として本市独自のチャレンジ支援補助金を創設いたしました。この補助金は事業継続や販路開拓、新たな商品やサービス開発などの取組を支援するものでございまして、例に挙げられましたケミカルシューズや真珠など地元産業の事業者からも積極的に活用したいという声を頂いているところでございます。この補正予算において、その予算枠を大幅に拡充したところであり、新たな取組を強力に後押ししていきたいと考えております。

ながさわ 要望 こういった経済的問題で亡くなられる方が出ないように、地場産業も含めて経済支援のほど、よろしくお願いします。

令和2年

決算特別委員会

局別審査 第2分科会

健康局



新型コロナウイルス感染症の検査体制の整備について

ながさわ インフルエンザ流行期における新型コロナウイルス感染症対策について、まずは検査体制の整備について伺います。

インフルエンザの流行を見据え、兵庫県内では250か所の医療機関で新型コロナウイルスの検査や診療を受けられる体制を整備するとの報道がありましたが、神戸市では何か所で検査を受けられるよう体制整備する予定なのか。具体的にどのように検査可能な医療機関を増やしていく予定なのか、教えていただきたいと思います。

小倉健康局担当部長 インフルエンザ流行期には、インフルエンザの症状を有する患者は、地域の診療所、病院、全ての医療機関で対応が必要と考えており、既に8月以降、神戸市民間病院協会、神戸市第2次救急病院協議会及び神戸市医師会に対して、診療検査の対応をお願いしております。10月中旬からの診療体制の構築を目指して、最終の詰めを行っているところでございます。具体的には、帰国者・接触者外来や病院も含めまして、少なくとも神戸市内で150程度確保したいと考えております。また、どのように増やしていくかというところですが、国におきまして、インフルエンザ流行期に地域の幅広い医療機関において発熱患者等の診療検査を行う体制が整備されるように、検査に必要な个人防护具の無償配布とか、院内感染対策、診療体制の確保に係る財政支援を行うこととしております。

国の補助事業を活用しながら、国の対象とならない、基準額を超える施設改修などに対して積極的に支援を行い、少しでも多くのかかりつけ医等が疑い患者を受けられる環境を整備することで、インフルエンザ流行期における医療体制を構築してまいりたいと考えております。

消防局 長田区の消火体制について

ながさわ 長田区では、住宅密集地域が残っております。このような地域は道幅が狭く、消防車が入りにくく、火災が発生すれば延焼もしやすく、被害が拡大するのではないかと懸念しております。消防隊が早く活動を開始するために、消防局ではどのような取組を進めているのかを伺います。

馬場 危機管理室長 住宅密集地域の特性として、木造住宅が非常に多くて、家と家との間隔、道幅も狭いなどのことがあり、火の発生時の延焼の危険性が非常に高いということでございます。火災を拡大させないために、2台の消防車が連携して、早く放水を開始することを目的とした**新たな仕組みを確立しております**。連携放水戦術と命名して、この8月から運用を開始いたしました。2台のうち1台目のこの車は水を積んだ小型タンク車でございます。可能な限り火災の現場の近くまで行って、この水を使っていち早く放水をします。タンク水の限りがありますので、2台目の車が小型ポンプ車でございますが、先に放水している小型タンク車の水がなくなる前に補給をさせるという、この2台の消防車が連携して消火活動を行うということを始めております。



危機管理室 7月梅雨前線による豪雨への対応について

ながさわ 令和2年7月豪雨に、九州で多数の線状降水帯が発生し、九州地方を中心に大きな被害をもたらし、神戸市においても局地的な豪雨による土砂災害が発生し、避難指示等が発令されました。局地的豪雨の発生については、あらかじめ対応できるように体制を整えておくことが重要であると考えますが、今後の対応方針について伺います。

馬場 危機管理室長 市の災害警戒本部を立ち上げて警戒体制を取ったところでございます。人的な被害はなかったということでございますが、局地的に豪雨により土砂災害が発生しまして、長田区や須磨区において避難指示や避難勧告などの避難情報を発令したところでございます。その中で課題として上げられましたのが3点ございます。

- 1点目、**迅速な警戒体制の確保**。大雨警報発令など災害の発生が高くなった段階で機動的な警戒体制を迅速に整える必要があると、危機管理室の体制とか区の体制、強化しているところでございます。
- 2点目、**气象台との連携**。ホットラインというのを持っておりまして、そちらのほうで情報共有を図っているところですが、もっと密に連絡・連携を図っていく必要があると確認しています。
- 3点目、**情報発信の方法**。情報発信においては、ただ避難情報を出した、発令したというだけにとどまらなかったため、今後は、エリアメール、緊急速報メールにおいて、どういう状況で避難情報が出されているのかというようなことも含めて発信をしたいと考えています。



▲▼ 水笠通公園

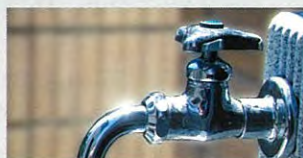


水道局 明石市への水の供給、工事費削減、遊休資産の活用について

ながさわ 前回、予算特別委員会の折にも質問させていただきました。水道局の収益が厳しいということで、少しでも収益に貢献できないかということで、遊休資産の売却、経年劣化の水道工事の工事費の削減。あと、明石市へ水の供給。少しでも神戸市へ貢献できないかという思いで質問させていただきました。今回は、その後どうなっているのですか、繰り返し質問させていただきます。

明石市の阪神水道企業団からの受水について

令和7年度に、明石市へ1日当たり1万立米の送水能力を整備していくこととありますが、明石市の経営戦略では、阪神水道企業団から1日当たり2万立米の受水を目指すとしております。1日当たり2万立米の受水には施設能力上、どのような制約があるのか、まず伺います。



山本 水道局長 明石への送水に使用すると想定しているルートは、中大口径管路でございまして、これが本市における老朽管更新対象路線として整備計画をしていますが、この管路は神戸市内への地域への給水を担う大切な管路でございまして、断水避けながら工事を行うために整備に時間がかかることとなります。少しずつ区切ってということになりますので時間がかかります。このルートではなく、代替路線を令和3年度から令和6年度にかけて整備をして、そちらで明石市への給水開始をしたいと思っております。その一方で、先ほど申し上げました本来管路、本来路線整備を開始する予定でございまして、そういったと、令和7年度からの代替路線を利用する場合には、仮に日量2万立米を送水したとして計算をいたしましたけれども、管口径が不足に神戸市内の一部の区域で水圧低下が発生いたします。神戸市民へ十分な水を安定的に供給できないなどの支障を来すおそれがありますので、本来ではなく、代替路線として日量1万立米を送水の上限水量としているところでございます。

ながさわ 明石市その受水量が倍増することになれば、施設の使用料はもとより、阪神水道企業団に対する神戸市の受水費削減等、様々な経済メリットがあると思えます。その1日当たり2万立米の受水に向けて、積極的に調整すべきであると思うのですが、その辺りはどうしてお考えでしょうか。

試算
 1万m³×86円(神戸市要望単価)=86万円
 86万円×365日 = 3億1千3百90万円
 2万m³の場合:
 3億1千390万円×2 = 6億2千780万円
 阪神水道事業団へ61円(1m³単価)支払いの為
1億8千250万円/年間 収入増

山端 水道局副局長 明石市の阪神水道企業団からの新規受水に当たりましては、本市が供給中の施設を一部共用利用することになりますので、施設使用料について実費相当分を求めていくこととなります。一方で、明石市の受水水量の増によりまして、受水費の削減や施設使用料などの収入の増など、本市においても経済的なメリットがあるとは考えてございます。

経年配水管の更新における発注方法の工夫について

ながさわ 経年配水管の更新について伺います。経年劣化施設の更新、特に経年劣化した配水管を計画的に更新していくということは、水道局の重要な業務の1つです。しかしながら、入札不調もあり、更新が進んでいないとのことでした。発注側の工夫として、新たな発注方法の実施状況はどのようになったのか、また新たな発注方法による工事費の削減効果をどのように見込んでいるのかを伺います。

田中 水道局副局長 配水管取替工事の不調率は平成30年で4割、令和元年度で約半分と、非常に高い状況でございました。一方、8月末現在であれば、配水管取替工事の不調率は24%ということで、回復はしておりますが、予断を許さない状況です。

入札不調対策としては、技術者不足への取組、市内事業者向けの接手講習会、接合研修会などを開催、受注者側の手間の削減の取組、ICT技術を取り入れることで、受発注者の業務の効率化・簡素化につながるよう、積極的に取り組んでまいりました。発注方法の工夫については、受注者側の人材・機材の効率的な利用も図れるように、債務負担行為やフレックス方式、そういった制度も積極的に活用することで、発注、施工時期等の平準化を進めております。新たな発注方法ということで、技術的な工夫が必要となります中大口径の配水管取替工事を対象に、詳細設計と施工を一体として発注する詳細設計付工事発注方式、これを公告しました。これにより、工事の発注業務の簡素化や施工者のノウハウに反映した合理的な設計工事が可能となり、設計から工事完成までの期間の短縮になると期待をしております。この取組によりまして、競争性が高まり、落札率が下がれば工事費の削減に寄与すると、考えてございます。

ながさわ 水道事業を取り巻く環境が厳しさを増す中、必要な投資を確実にを行うには、工事費の削減も重要です。例えば、その受注者側に積極的にヒアリングを行うなど、受注しやすい環境を生み出すことで、受注者側に適度に競争させることが、工事費の削減に大きくつながると考えます。発注方法の工夫を通じた事業費の削減について、考え方を伺います。

田中 水道局副局長 新たな発注方式の公告の前に、受注者となる土木事業者にの団体、神戸市建設協力会に概要、発注のスキームを説明し、御意見を頂戴しております。ヒアリングでは、設計業務を経験したことがないので、全体の工程等が分からない。設計業務に土木事業者の技術者がどれだけ関わらないといけないのか分からないとか、不安の声もございましたが、自分たちのペースで工事が施工できるなどの裁量がある、それがメリットだと前向きな意見も頂いています。引き続き受注者との意見交換などを通じて、受注者が発注しやすい環境を整えていきたいと考えております。こういった新たな取組を続け、委員御指摘のとおり不調が改善され、競争性が高まり、落札率が下がり、事業費の削減にもつながると、考えております。

遊休資産の活用について

ながさわ 遊休資産の活用について伺います。この厳しい経営環境を少しでも改善するよう、遊休資産の売却や貸付けの現状や、将来の見通しについて質問したところ、積極的に取り組んできた結果、可能なものはほぼ売却、貸付けを行っているとのことでした。その後、新たな活用可能な物件があれば、予定も含めて伺います。

山本 水道局長 平成26年度に民間事業者の、26年度に水道局内に資産活用検討会議を設置いたしまして、民間事業者の活用可能性調査を実施して、その結果に基づいて方針を決め、運用を行っているところです。平成26年度以降現在までに売却実績が15か所、売却益が17億1,700万円。貸付けにつきましては、令和元年度の実績といたしまして、計22か所の年間貸付額1億6,500万となっております。新たな活用可能物件でございますけれども、4月から上ヶ原公社跡地を駐車場の用途として貸し付けることができました、年間500万円の賃料を頂けることになっております、北区藤原台の用地ですとか、須磨区の旧メーター事務所などにつきましても、一般競争入札で売却ができればということで準備をしている途中でございます。厳しい経営状況を少しでも改善できるよう、積極的な資産運用に心がけてまいりたいと考えております。



身を切る改革 継続実行中!!

寄付額累計
2,215,440円

2019.11.26	特定非営利活動法人ままはと(台風19号災害復興)	400,000円
● 2020.01.30	沖縄県首里城復旧・復興支援募金活動事務局(免除災害等義援金)	320,000円
寄 2020.04.14	北里大学北里生命科学研究所(新型コロナ対策北里プロジェクト)	200,000円
付 2020.06.03	京都市新型コロナウイルス感染症対策支援寄附金	80,000円
状 2020.07.03	新型コロナウイルス感染症対策事業寄附金(大阪府)	280,000円
況 2020.08.19	人吉市災害義援金 人吉市長 松岡隼人(熊本県)	240,000円
● 2020.10.30	くにおみ神話のまちづくり実行委員会(兵庫県淡路島)	355,440円
2020.12.18	社会福祉法人尼崎市社会福祉協議会(こども食堂の支援に限る)	340,000円

発行
**日本維新の会
神戸市議員団**
〒650-8570
神戸市中央区加納町
6丁目5番1号 1号館29階
TEL: 078-322-0185
FAX: 078-322-0184

新型コロナウイルス第2波、第3波に 備えた病院体制について

ながさわ 神戸市の感染症指定医療機関である中央市民病院において院内感染が発生したことは、神戸市民にとって大きな衝撃として受け止められています。今年3月の常任委員会において、厚生労働省が要請した入院患者数を算出する推計式を活用し、必要な対応を行うべきと求めたところ、具体的な分析はしていない旨と、市内医療機関の協力できる範囲内で30から50の病床を目標に確保する旨の回答がありました。結果として、最大約120床の病床を確保することとなり、医療提供体制の確保や必要な物資が不足し、現場が混乱するなど、神戸市の見込みが甘かったと言わざるを得ないのではないのでしょうか。そして医療現場を混乱させたのではないのでしょうか。現時点での分析を含め、見解を伺います。

久元市長 初めての対応でしたので、院内感染など様々な課題も起きましたので、現在行っている検証作業の中で、そのような課題、しっかりと検証して、これからの対応の考え方も含めて整理をしていきたいと考えております。

学校配付タブレット端末の活用について

ながさわ GIGAスクール構想により、全小・中学生が1人1台パソコンを持つことになり、学校においてもネット環境も整備される等、神戸の教育における大きな転換期を迎えるのではないのでしょうか。できるだけ早くパソコンを活用した授業を行うように取り組んでいただくとともに、学校現場ではICTを活用した授業に抵抗を感じる教員もいると思われるため、生徒の学習格差が生じないように、教員への教育やソフトウェアの準備を確実に行うべきと考えますが、どのように進めていくのか、見解を伺います。

長田教育長 GIGAスクール構想は、御指摘をいただきましたように、神戸の教育にとりましても大きな転換期になるものと考えております。GIGAスクール構想の推進に向け、今年度から情報教育推進室を設置したところですが、授業でのICTの活用による不安を感じている教員の中には、授業での利用をイメージしにくく、躊躇している場合もあると思われまますので、教科の単元での活用場面など、具体的に提示をすることで利活用を進めていきたいと考えております。さらに、御指摘をいただきましたような教育用のソフトウェアを導入するののかということにつきましても、非常に重要でございます。費用対効果の観点も十分踏まえまして、GIGAスクール構想の実現に合わせて、効果が最大に上がるというようなものとなるように今後十分検討をしていきたいと考えております。



患者受入体制の整備について

ながさわ 高熱が出て、しんどいと、かかりつけ病院に行ってもいいということですが、どこかの病院に行っていないか分からないという状態になったときに、それは一々電話してから行ないといけないのですか。

花田健康局長 インフルエンザの流行期につきましては、かかりつけ医などの近くの医療機関にまず電話してください。どんな医療機関でも電話は受けることになっております。内科系じゃなくても、まず、受けて、自分ところで診察が可能であれば診察する。診療科がどうしても違うとかということになれば、どこかを紹介する、それはリストを共有しています。電話ですから、たらい回しじゃなくて次の確実なところに行く、そこで診察を受けます。診察を受けることと検査をすることはまた別です。そこで検査できない場合は、検査機関を紹介することになりますので、まず電話で適切な診療が受けられるところを御紹介するという制度をしているということでございます。

長田区の西市民病院の建て替えについて

ながさわ 長田区の西市民病院の建て替えについて建て替えが予定されていると思いますが、今のままこの長田区内で建て替えが行われる予定になっているのかどうか、まず伺います。

花田健康局長 西市民病院につきましては、施設の狭隘化と老朽化が課題となっておりまして、その点も踏まえて、市街地の整備地区の中核病院としての役割を今後どうしていくのかということで、有識者会議を8月5日から開いているところでございます。その中で、必要な医療機能とか規模とか、来年中に報告書をまとめる予定にしております、この有識者会議の中において整備の御意見も頂きながら、方向性の御意見も頂きながら、移転なのか現地建て替えなのか、大規模改修を行うのか、ということも踏まえて場所についても、その検討結果を踏まえながら検討していきたいと思っております。

ながさわ 要望 現地建て替えもいろいろあると思いますが、この長田区の西市民病院は、データもあると思いますが、近隣の方がかなり利用されている病院ですので、近隣の方たちにとっては非常に重要な病院です、ぜひとも長田区の近くで建て替えしていただければと思いますので、よろしく願います。